



17.5

MILLION

1750万人が
抗レトロウイルス剤で
HIV治療を受けています

79.1

MILLION

7910万回の
HIV検査が
実施されました

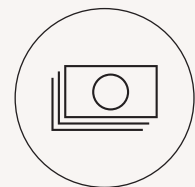
9.4

MILLION

940万人が
HIV予防プログラムと
サービスを利用しました

27 MILLION

2700万人の生命が救われました



US\$

4.2

BILLION

42億米ドルが
グローバルファンドによって
供与されました



5

MILLION

500万人が結核の
治療を受けました

102

THOUSAND

10万2000人の
薬剤耐性結核患者が
治療を受けました

US\$

205

MILLION

2億500万米ドルが
共同調達によって
節約されました



197

MILLION

1億9700万張の
蚊帳が配布されました

108

MILLION

1億800万人の
マラリア感染者が
治療を受けました

対策の状況

- 効果的な HIV 治療へのアクセスの改善により、死亡率や感染率が大幅に低下し、劇的な進展が見られました。しかし、一部のキーポピュレーション（訳注：対策を届けるべき鍵となる人々）や一部の国の青少年の間で新たに HIV 感染が増加しています。人権やジェンダー関連の障壁など、古くからの体系的問題が新たな感染を助長し、治療への障害となっています。一部のコミュニティでは、若者が HIV 以外の問題に気をとられ、HIV 感染予防の喫緊性に対する意識が下がっています。

- **結核**は感染症の中では最大死因で、年間170万人が結核で死亡しています。また、新規感染者のうち毎年400万人以上が診断・治療を受けていません。このような状況が、感染が続く原因となっています。この傾向が続けば、2050年までに薬剤耐性結核により260万人の命が失われ、世界経済に与える損失は16兆7000億米ドルと推定されています。

- **マラリア**による世界的な死亡率は2000年から60%減少し、目覚ましい成果をあげてきました。しかし、この成功もいまや危機に直面しています。資金援助の停滞、さらに薬剤や殺虫剤に対する耐性が対策の進展を妨げ、2016年のマラリア感染者数は2015年より500万人増加しました。資金の増加と新たなツールがなければ、私たちが達成できることにも限界があります。

グローバルファンドの対応

- グローバルファンドが支援するプログラムにより、1750万人に抗レトロウイルス剤を提供し、各国での HIV 治療指針の最適化、治療を必要とする社会集団に適したサービスの普及を実現しました。脆弱なキーポピュレーションを対象とした予防のために2017～19年に割り当てられた資金は、前回の支援期間より30%近く増加しました。グローバルファンドは、地域社会、学校、法執行機関、企業、医療関係者、公衆衛生担当者、技術的パートナーなどが結集して包括的戦略を実行するパートナーシップを支援しています。HIV 対策を促進する触媒的資金援助（catalytic funding）2億米ドルのうち1億500万米ドルが予防に割り当てられており、キーポピュレーションや思春期女子・若い女性を対象としたプログラムへの支援拡大を促すためのマッチングファンドなどが含まれます。

- **結核**対策の進展は、診断・治療が行われていない感染者をどのように特定するかにかかっています。グローバルファンドは診断・治療が行われていない結核感染者の75%が暮らす13か国に1億1500万米ドルを支援し、2019年末までに150万人の感染者を新たに特定することを目指しています。特に、薬剤耐性結核の診断を含め、より迅速かつ正確

な診断結果を出せる分子診断技術を重点的に支援しています。持続可能な開発目標を達成するには、より一層の努力が必要のため、グローバルファンドはパートナーシップを通じて、国内外からより多くのリソースを確保し、ハイレベルな政治的誓約をとりつけ、研究開発投資を触発し、サービス拡大に向けてその障壁の軽減に取り組んでいます。

- グローバルファンドは**マラリア**対策における世界最大級の資金提供機関として、ベクターコントロールに用いる殺虫剤や薬剤処理蚊帳などの市場を形成し、新たな診断・治療・予防のためのツールを安価で市場に導入・普及するためのパイロットプロジェクトやデータ収集などを支援しています。そのひとつが、殺虫剤耐性の対策のため、新しい蚊帳の効果を試すアフリカのパイロット事業に3500万米ドルを支援しています。マラリアのまん延地域を縮小することが可能な場所では、マラリアの排除を目指す必要があります。グローバルファンドは、中南米での地域マラリア排除イニシアチブや、メコン河流域の国々で広がるマラリア治療薬アルテミシニンに対する耐性の防波堤としての地域アルテミシニン耐性イニシアチブなど広域のイニシアチブに600万米ドルを支援しています。

- **強靱かつ持続的な保健システム**の構築はグローバルファンドの戦略的な柱です。そのため、薬剤などの調達やサプライチェーンの改善、情報システムおよびその活用強化、保健医療従事者の能力強化、コミュニティの対策やシステムの強化、サービス提供の連携・統合など、人々が生涯を通じて包括的な治療を受けられるための横断的な支援を行っており、その支援額は全体の27%を占めています。

- **ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ**および持続可能な開発目標の達成には多数のパートナーによる統合的アプローチが必要です。しかし最終的に、感染症の終息は各国自らが十分に資金を配分し、持続可能なシステムを構築することによってはじめて可能となります。グローバルファンドの共同ファイナンス方針により各国の**保健に割り当てる国内資金**は大幅に増加しました。2018年4月までに承認された2018～20年のグラント支援要請（グローバルファンドの支援資金の約75%に相当）における国内資金は、2015～17年に比べて40%以上増加しています。